



秋田県消防学校の初任教育第六五期入校式は四月八日(金)、県内一三消防本部から初任教育始まって以来最多の九二名の入校生と来賓、父

平成23年度
初任教育

東日本大震災を受け、 消防職員としての決意も新たに

秋田県消防学校



題 字
初代会長 松野盛吉
定 価 1部 5円
(購読料は年会費に含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中泉 松之助
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

兄など二五〇名が出席して行われた。入校式では、冒頭、三月一日(金)発生した東日本大震災で犠牲になられた多くの方々に、出席者全員で黙とうをささげた。続いて入校生一人一人の名前が発表され、本間稔校長が式辞を述べた。堀井啓一秋田県副知事、中泉松之助秋田県消防協会会長、佐藤肇秋田県消防長会会長(秋田市消防長)が入校生を激励した後、入校生を代表して由利本荘市消防本部大友泰隆消防士が力強く宣誓を行った。第六五期入校生は九月一六日(金)までの六ヶ月間、「研心寮」で共同生活を送りながら、消防全般にわたる基礎的知識と技術の習得、厳正な規律、旺盛な気力、体力の錬成を図るための基本的教育訓練を受け、修了後には、それぞれの配属先で警防隊員として活動できる能力を養成することとなる。

火災や救命救急だけでなく、各種の自然災害、大規模テロ、新型インフルエンザなどの事案に対し、事前の予防対策や災害発生時の対応などが求められている。皆さんの修了時までの目標は、消防の基礎を築き、現場につながる消防知識・体力・人格を身につけること。このため学校では、消防人としての心構えを体得し、知識・技能を習得し、体力を向上し、寮生活では自らを律した集団生活を心がけて下さい。



本間校長式辞

皆さんは、自らの意思で選択した消防人生に大きな誇りと自信を持って力強く歩んでほしい。消防職員は

女性消防士は今年も三名入校し、これで四年連続で合わせて一四名となった。

消したはず 決めつけしないで もう一度

平成二十三年全国統一防火標語



堀井副知事あいさつ

三月一日に東日本大震災が発生し、岩手県、宮城県、福島県などでは未曾有の被害を被りましたが、県内からは緊急消防援助隊がいち早く岩手県に赴き、今も活動しており、今後は宮城県への出動も予定されている。

消防には、常に適切な対応とスピードが求められているが、その対応力を学ぶのが消防学校である。皆さんには、地域住民の信頼と付託に応える消防人となるため、一層の精進を期待する。

中泉消防協会会長祝辞

東日本大震災を機に県民の消防防災に寄せる関心・期待はますます高まっており、その分消防の果たすべき任務・役割は一層重要となってきた。

初任教育第65期 入校生名簿

【1組】

秋田市消防本部

姉川 隼 高井 雄 太
斉藤 愛 岸 京 介
藤田 佳 祐 佐藤 隆 介

大館市消防本部

内山 亘 弘 明石 惇
若狭 健 也 岩 谷 源 太
本間 敬 浩

北秋田市消防本部

出川 謙 佑 山岡 陽 平

由利本荘市消防本部

大友 泰 隆 伊東 毅
小濱 慎 吾 佐々木 朋 紋

にかほ市消防本部

渡辺 賢

横手市消防本部

佐藤 康 太 小西 雄 弥
小田島 貴 大 眞 田 綾
阿部 智 幸 古 内 裕 輝
小田嶋 伸 弥

五城目町消防本部

今川 貴 博

鹿角広域行政組合消防本部

成田 雄 哉

能代山本広域市町村圏組合消防本部

伊藤 謙 吾 畠山 步
鈴木 和 希 佐藤 春 佳

湖東地区行政一部事務組合消防本部

鏡 文 成 石川 貴 一

男鹿地区消防一部事務組合消防本部

三浦 侑 士 吉田 研 吾
山田 駿 介 佐藤 慎 太郎

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

佐藤 一 光 佐々木 翔
木村 直 哉 伊藤 大 騎
豊嶋 圭 人 長 岐 政 伸
高橋 大 貴

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

金澤 広 平 柴 田 卓 洋
仙道 直 人

【2組】

秋田市消防本部

藤原 真 也 木村 享 正
藤盛 翔 伊藤 成 志
渡部 大 希 高 橋 戒

大館市消防本部

藤原 章 人 佐藤 亮
田村 幸 弘 福 館 将 太

北秋田市消防本部

田中 宏 和 佐藤 光 世
藤嶋 梢 平

由利本荘市消防本部

篠田 陽 介 伊藤 大 地
佐々木 航 洋 佐々木 昇 平

にかほ市消防本部

今野 広 貴

横手市消防本部

葛谷 亮 平 土田 拓 実
高橋 昌 大 佐藤 綾 堯
照井 達 也 佐藤 雅 堯

五城目町消防本部

渡邊 雄 大

鹿角広域行政組合消防本部

湯瀬 啓 祐 安 保 伸

能代山本広域市町村圏組合消防本部

厚木 克 矢 小玉 賢 一
畠山 弘 也 志 田 順

湖東地区行政一部事務組合消防本部

藤原 克 幸 栗 森 貴 寛

男鹿地区消防一部事務組合消防本部

齊藤 孝 史 中濱 大 貴
石川 太 一 西 方 雄 貴

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

山本 道 太郎 右谷 慎 悟
黒沢 知 森 元 貴 大 志
伊藤 弘 己 鶴 谷 岳

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

須藤 憲 哉 井 上 雄 太

『東北地方太平洋沖
地震に伴う義援金』の
交付状況

■日本消防協会

日本消防協会では、各都道府県協会から寄せられた義援金が、四月二十八日現在、一億九千五百八万円となり、津波の被害と原子力発電所事故の影響の大きい各県消防協会に対し、その被害状況を勘案し、次のように交付されました。

○岩手県、宮城県、福島県 各六千万円

○青森県、茨城県、千葉県 各二百万円

■秋田県消防協会

秋田県消防協会では、会員の皆様から四百十四万円と多くの義援金が届けられ、これに協会等からの六万円を加え、合わせて四百二十万円を日本消防協会へ送付しました。

また、消防本部、消防団のご厚意により、消防車輛や小型ポンプなども日本消防協会を通じ被災地消防団へ送るごことなっています。

皆様のご協力に対し、厚く御礼申し上げます。

被災された消防関係者は、今も復旧復興に向け懸命の活動を続けられています。引き続きご支援下さいますようお願い致します。

新消防長紹介



五城目町消防本部
伊藤 隆



にかほ市消防本部
阿曾 時秀



北秋田市消防本部
杉 敬輝



由利本荘市消防本部
伊藤 敬一



横手市消防本部
泉 榮次



秋田市消防本部
佐藤 肇



八峰町消防団
本多 健



北秋田市消防団
北林 栄

新消防団長紹介



湖東地区行政
一部事務組合消防本部
伊藤 繁



男鹿地区消防
一部事務組合消防本部
天野 正廣



鹿角広域
行政組合消防本部
沢田 正



大曲仙北広域
市町村圏組合消防本部
伊藤 和美



湯沢市消防団
近野 宗一



横手市平鹿消防団
首藤 俊行



仙北市消防団
佐藤 生治



潟上市消防団
古戸 俊行



森田ポンプ ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 協 立
株式会社 能代消防センター

〒016-0846 能代市栄町12の3
TEL (0185) (52) 6361
(52) 6494

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

防災対策シリーズ⑤ 地震対策(2)

大地震から身を守るための10カ条

阪神・淡路大震災のような大地震は、いつ襲ってくるかわかりません。いつ起きてもあわてないように、普段からしっかりと心の準備をしておきましょう。落ち着いて行動することが、被害を少なくするコツです。

1 まず、我が身の安全を図れ。

なによりも大切なのは命です。地震が起きたら、まず第一に、身の安全を確保しましょう。



2 すばやく火の始末。

あわてず、騒がず冷静に。「火を消せ！」とみんなで声を掛け合い、調理器具や暖房器具などの火を確実に消しましょう。



3 非常脱出口を確保する。

地震のときは、ドアや窓が変形して開かなくなることがあります。ドアや窓を少し開けて、逃げ道を作っておきましょう。



4 火が出たら、まず消火。

「火事だ！」と大声で叫び、隣近所にも助けを求め、初期消火に努めましょう。



5 外に逃げるときは、あわてずに。

外へ逃げるときは、ガラスや瓦などの落下物に注意し、落ち着いて行動しましょう。



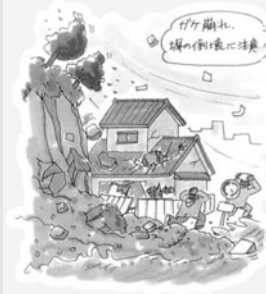
6 狭い路地、塀ぎわ、がけ、川べりに近寄らない。

ブロック塀、門柱、自動販売機などは倒れやすいので、特に注意しましょう。



7 山崩れ、がけ崩れ、津波に注意する。

山間部や沿岸部で揺れを感じたら、早めに避難態勢を整えましょう。



8 避難は徒歩で。荷物は最小限に。

指定された避難場所へ徒歩で避難しましょう。車やオートバイは使わないように。(山間部などを除く)。



9 みんなが協力し合って、応急救護。

お年寄りや体の不自由な人、ケガ人などに声をかけ、みんなで助け合いましょう。



10 正しい情報をつかみ、余震に注意。

ラジオやテレビで正しい情報を確認しましょう。うわさやデマに振り回されないように。



平成23年
6月1日
より

住宅用火災警報器の設置が義務化されます 未設置の住宅には早期に設置しましょう

平成16年の消防法改正により、平成23年6月には、すべての住宅を対象に住宅用火災警報器（以下「住警器」という。）の設置が義務化されます。

本県の住警器の推定普及率は、平成22年12月時点で49.7%（消防庁）となっており、一層の取り組みが必要となっています。

今月は、住宅火災の現況や住警器の設置による効果等について紹介しますので、参考にしていただき、住宅に住警器を設置していない方は、是非、早期に住警器を設置するようにして下さい。

住警器の設置で、住宅火災による死者数の減少、損害の拡大防止を図りましょう。

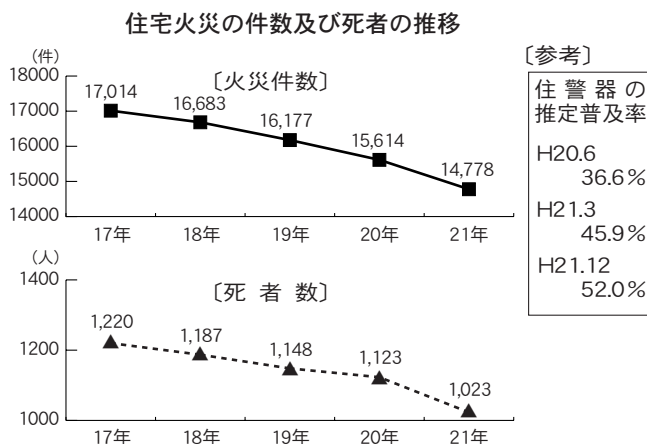
(出典：平成22年版 消防白書)

住宅火災の現況

①住警器の普及とともに住宅火災による死者は減少

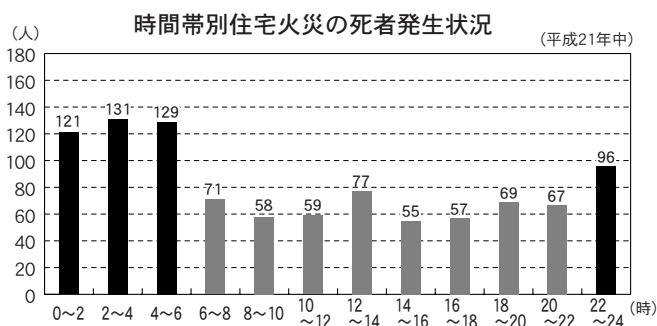
住宅火災による死者（放火自殺者等は除く。以下同じ。）は、平成17年以降減少傾向が続いている。この間、住宅火災件数（放火を除く。）も同様に減少傾向にあるが、減少率は「死者」の方が3.0ポイント高い16.1%となっている。

また、平成21年中の死者数は前年から8.9%と大幅に減少していることなどから、住警器の普及が寄与しているものと思われる。



②22時から翌朝6時までの時間帯で多くの死者が発生

平成21年中の時間帯別の住宅火災の死者を時間帯別にみると、22時から翌朝6時までの1時間当たり平均の死者は59.6人で、6時から22時までの平均34.1人の1.7倍となっている。



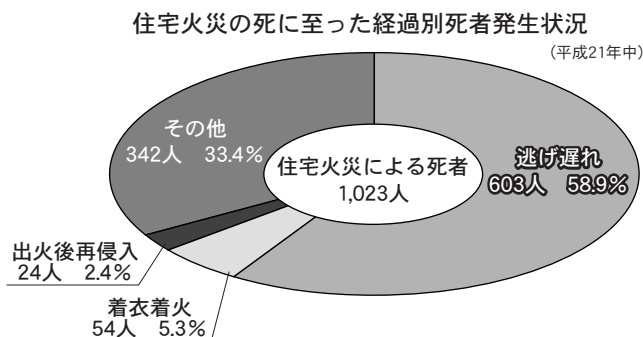
③「逃げ遅れ」による死者が最も多い

平成21年中の住宅火災による死者を、死に至った経過の発生状況別にみると、「逃げ遅れ」が58.9%と最も多くなっている。

住宅火災で重要なのは

早期発見 早期避難

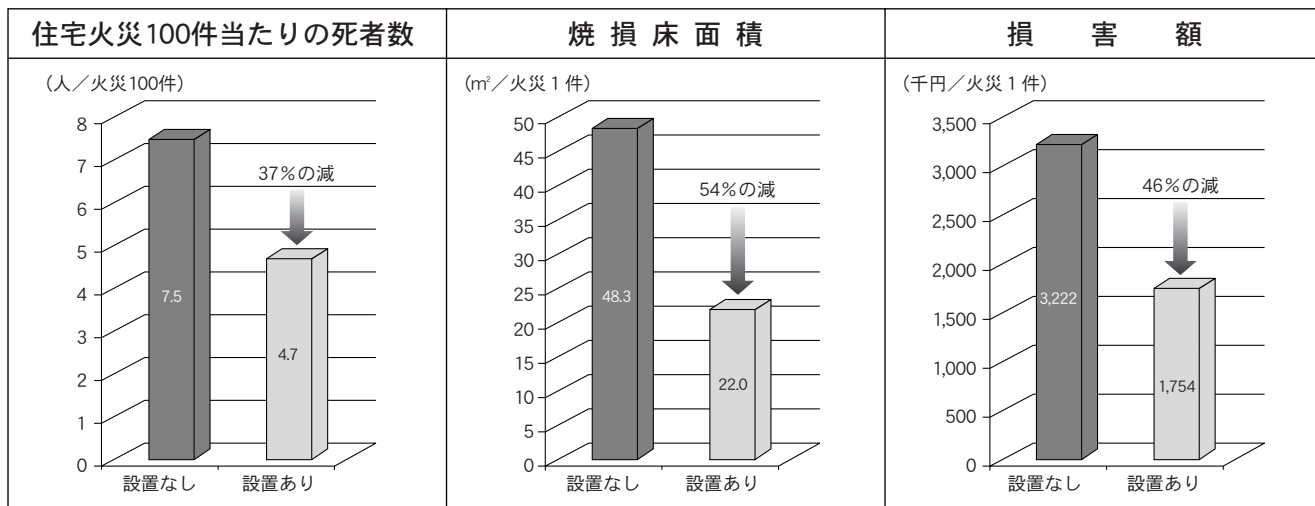
誰もいない部屋や就寝中に火災が発生したら、火災の発生に気付くのが遅れ、逃げ遅れることもあります。火災の発生をすばやく察知できれば、いち早く避難することができ、命が助かる可能性も高くなります。



住警器の設置による被害減少の効果

消防庁では、平成19年から21年までの3年間における、失火を原因とした住宅火災44,085件について、住警器の設置による被害減少の効果分析了。

その結果、死者数、焼損床面積、損害額でみると、住警器が設置されている場合は、設置されていない場合に比べ、被害状況が概ね半減しており、火災発生時の死亡リスクや損失の拡大リスクが減少することが分かりました。



住警器の推定普及率

【北海道・東北地区】

	H21.12時点	H22.12時点
北海道	58.5%	66.4%
青森県	67.2	71.2
岩手県	41.1	52.1
宮城県	74.7	82.0
秋田県	32.8	49.7
山形県	37.7	49.4
福島県	35.5	54.1
新潟県	29.7	49.8
全国平均	52.0	63.6

【消防本部別】

	H21.12時点	H22.12時点
鹿角広域	27.2%	45.7%
大館市	36.7	51.8
北秋田市	40.9	49.0
能代山本広域	29.7	53.2
男鹿地区	24.2	43.1
湖東地区	20.8	55.0
五城目町	41.3	48.7
秋田市	40.4	55.0
由利本荘市	32.4	50.7
にかほ市	32.4	45.0
大曲仙北広域	23.9	45.9
横手市	28.3	45.1
湯沢雄勝広域	22.4	33.6

★住警器の設置等に関するお問い合わせは、最寄りの消防署又は消防本部にお寄せ下さい。

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高義商会

- (営業種目)
- トーハツ小型動力ポンプ
 - モリタ自動車ポンプ
 - ジェットホース
 - 消防被服全般
 - 火災報知器各種
 - 消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕カギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーハツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパイホース
- シバウラポンプ
- 各種消火器

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

支部情報アラカルト

住警器の「設置済」

シールを作成

能代山本広域
市町村圏組合消防本部



報器(住警器)を取り付けている家庭に「設置済」と書かれたシールを配布して一層の設置促進を行った。

このシールは、能代市婦人防火クラブ連合委員会が、(財)日本防火協会の住宅用火災警報器設置推進活動等資金を活用して、住警器の普及率を高めることを目的に、能代市山本郡内の全世帯にあたる三万五千枚を作成した。

運動初日には、消防本部管内全域において地元消防団や消防関係団体が各家庭を訪問して調査し、住警器が設置されている家庭には、玄関など人目に付きやすいところに設置済シールを貼ることにより、地域における普及啓発に繋げている。

六月からは設置が義務化される中で、能代山本地域の前年度末時点での普及率は、五三・二%とようやく



かけるとともに、全世帯の普及率一〇〇%を目標に、シールの配布活動を続けている。

〔情報提供〕能代市山本郡支部

火災の発生状況(速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成23年		平成22年			同期比較	
	4月	累計	4月	累計	年計	4月	累計
建 物	25	83	16	85	235	9	-2
林 野	6	6	4	4	13	2	2
車 輛	1	6	4	7	27	-3	-1
そ の 他	7	15	9	21	57	-2	-6
合 計	39	110	33	117	332	6	-7
死 傷 者	5	20	1	9	20	4	11
負 傷 者 数	6	22	7	20	58	-1	2

消防 半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門

寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

平成24年度・第18回
全国女性消防団員活性化秋田大会

大会テーマ大募集

応募お待ちしております!

申込期限 平成23年6月30日(木)まで
申込方法 郵送・FAX・メール
申込先 〒010-0951 秋田市山王4-1-2
秋田地方総合庁舎5階
秋田県消防協会
TEL.018-867-7320
FAX.018-863-5910
E-mail ask@shoubou-akita.or.jp

入賞作品発表 『消防秋田』10月号にて発表します。

秋田県消防協会では、第一八回全国女性消防団員活性化秋田大会のテーマを募集しています。この活性化大会は、全国の女性消防団員が一堂に集い、消防団活動について情報交換を行うことにより、消防団活動の一層の活性化を図ることを目的としています。最近の大会テーマを紹介します。

- ▼第一五回岡山大会(平成二一年度) 晴れの国おかやまから 『安全・安心への架け橋 キラリ輝け女性消防団員』
- ▼第一六回奈良大会(平成二二年度) いにしへの都奈良へようこそ 『未来へつづく女性消防団員の絆』
- ▼第一七回香川大会(平成二三年度) よつこそ瀬戸の都さぬきへ 『集まれ!つなぐ!女性消防団員!』